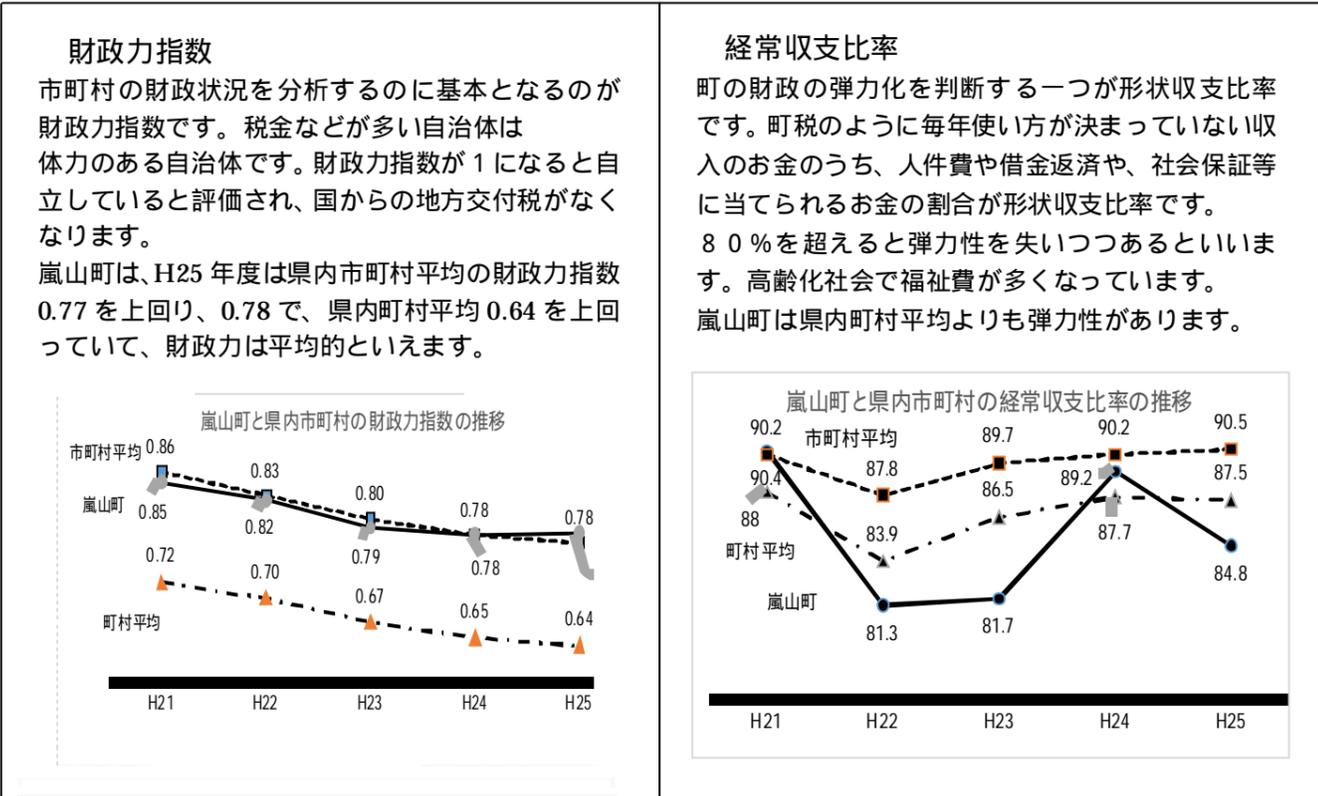


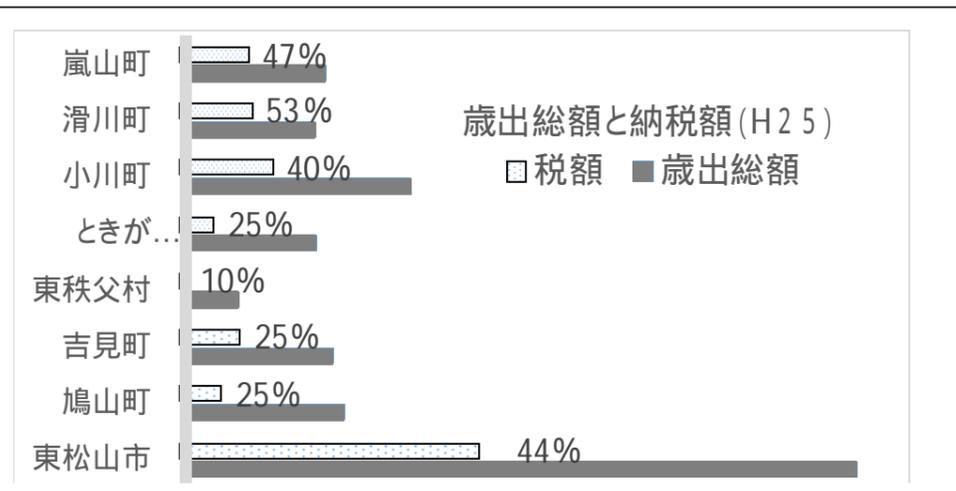
# 嵐山町財政は、県内市町村では平均的です。決して悪いほうではありません。

20年前からはじまったまちづくり(区画整理事業・役場庁舎建設などの借入金返済が続いているので、子育て・福祉・教育への予算のやりくりが難しいのですが……賢く税金を使うことを！

下記のように嵐山町の財政力は、県内の町村のちでは高く、県内市町村では、平均的です。財政の弾力性も、H25年は硬直化している状況ではありません。



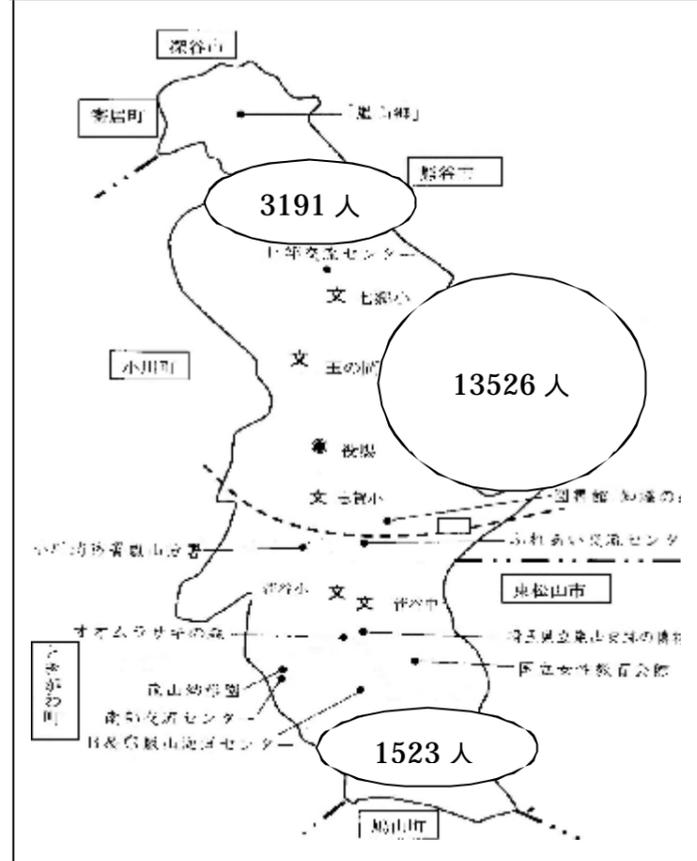
下記のグラフは、比企郡8市町村の平成25年度一般会計に定める市町村税納税額です。東松山市は財政規模が大きい。歳出に定める納税額の割合は滑川町53%、嵐山町47%、東松山市44%。



あれこれ通信 NO80は11月に発行予定でした。が諸事情で、12月になりました。遅くなりましたが発行でき感謝です。

	歳出総額	納税額		歳出総額	納税額
嵐山町	59億5300万円	27億8700万円	東秩父村	23億6900万円	2億4600万円
滑川町	55億2600万円	29億5000万円	吉見町	62億5300万円	24億5600万円
小川町	94億6900万円	37億9100万円	鳩山町	67億1200万円	16億8400万円
ときがわ町	55億5300万円	13億7700万円	東松山市	278億2600万円	123億800万円

嵐山町は、南北に長く駅周辺に人口が集中し、駅周辺、都幾川まで・役場までの地区に13526人が住んでいます。北部地区は、嵐山郷や嵐山苑、ユートピアなどの施設を含め3191人が住み、南部地区は1523人が住んでいます。(H26年10月末日、人口18240人・住民基本台帳)



## 嵐山町のソフト面での課題

### 少子化への対応

七郷小・志賀小・菅谷小の子ども数が減少し、人口減少が続きます。クラス定員40名なのでその年に生まれる子ども数によって1クラスの子ども数が多くなったり、少なくなったりします。小学校3校は、このままでいいでしょうか。

### 地域公共交通の確立が必要です。

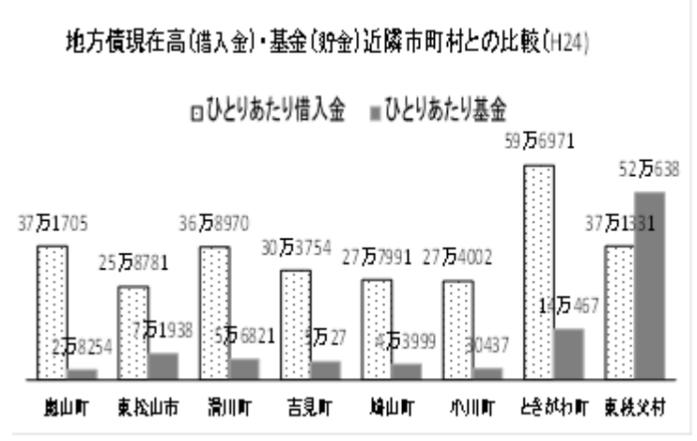
自動車を運転しない人や高齢化で運転をやめた人が、自由に移動できる仕組みをつくりたいですね。75才以上の運転免許を持たない人へのタクシー券発行のみでは間に合いません。

イーグルバスは花見台工業団地行き・循環器センター行き・町内循環は、4月より赤字路線で廃止になります。ドアからドアのデマンド交通が必要です。北部地区では自動車利用ができない人は深刻です。

## 駅に子育て支援センターができます。

駅西側の公園が、こどもや歩ける人、高齢者にとってのんびりできる場になって、駅西側の商店が活性化するといいですね。駐車場の気になりますが……

地方債(借入金)と基金(貯金)をみると、嵐山町8市町村のなかで、基金が少なく、災害時には不安です。下記のグラフのように、東秩父村は、借入金より基金が多いです。市町村合併したときがわ町は、合併特例債を使って事業をしているので借入金が多い。嵐山町は、まちづくりの借入金とその返済が続き、ソフト面が弱いと思います。



## 人口減少で一人当たり借入金は増えていきます。

